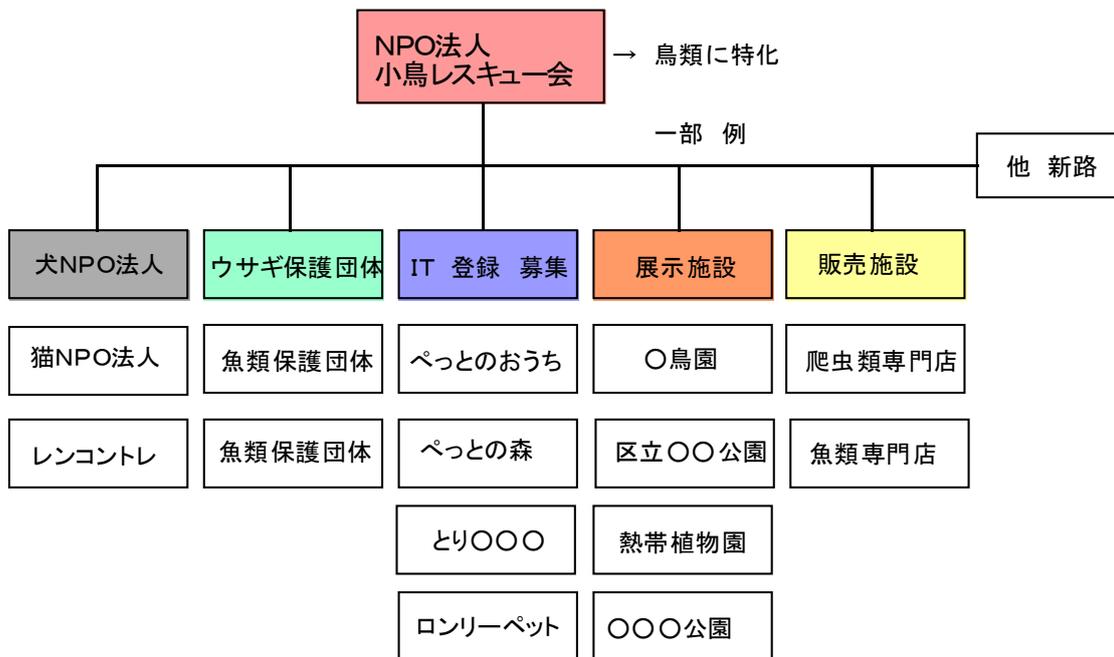


NPO法人 小鳥レスキュー会の活動報告

現状の活動	鳥の飼育相談	日常のケア 爪切・老鳥の介護方法・訓練方法・発情制御の方; 病鳥の看護方法・飼育に関する勉強会・他
現状の活動	鳥の引き取り	飼い主の高齢化による飼育の継続が困難な鳥の引き取り 飼い主の病気・移転・他 飼育の継続が困難な鳥の引き取り 奇形・病気の鳥・迷子・野外に放置・破棄された鳥の引き取り
↓		
今後の活動	共生 福祉	高齢者・体の不自由な方のペットの飼育補助 訪問ボランティアの育成 高齢者・体の不自由な方に一時預かり・または飼育補助をつけて飼育 してもらう(精神状態の安定や認知症の予防につながる傾向)
今後の活動	共生 窓口	犬猫以外のペットの飼育相談や飼育補助を行う活動 行政の引き取り窓口がないため、近隣の川に外来種生物を放してしまう 鳥・ウサギ・爬虫類を外に放したり、放置してしまう その結果、外来種の繁殖増加・従来種の激減絶滅につながる また温暖化の影響もあり、従来まで越冬できなかった外来種が繁殖可能 となることで、毒性を持つ昆虫、爬虫類、魚類などにより、川や沼地、河川 敷や公園などに危険外来種生物が在住する危険がある この活動については環境や自然・固有種の保護につながる

※現状の活動にプラスして検討していきます。

具体的な活動 ↓ 各種保護の任意団体・NPO法人・施設・販売店との連携を計り、各専門分野と相談し、対応していく



新路:企業・教育機関・県立・市立の施設地などとの連携